

# 今期330棟見込み

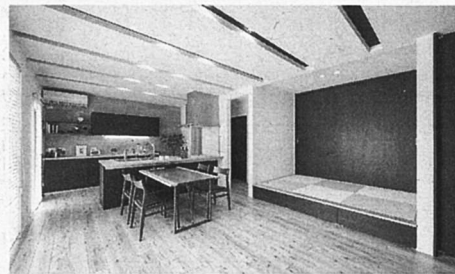
## 要望に応える家づくり

### 日進堂グループ

四国最大手ビルダー「き」という。

日進堂（香川県高松市、喜久山知哉社長）は今年（2019年11月期）の着工で170棟強（注文住宅50%、分譲住宅50%の割合）、同社グループでローコスト住宅を手掛けるファミリーホームは150棟強で、合計330棟を見込んでいる。

10月から消費税率が引き上げられたが、「駆け込み需要の感触はなく例年どおりの動



A1住宅（ニコネット）のモデルハウス

0万円の「スクエアバリュー」を打ち出した。

ファミリーホームは規格商品「ピュアハウス」（土地十建物十外構セット）を中心に岡山県と四国全域で営業を展開している。

日進堂45億円、ファミリーホーム32億、33億円を見込んでいます。新商品（住宅）では18年からA1住宅に取組み、機能で付加価値を進めている。事業展開では、19年初めには高松市内で不動産買い取り専門店を開設した。